



▲ ケバブちゃんと雪むすめの本名沙織さん



雪 「ケバブちゃん」に委嘱状 まつりをツイッターでPRしま〜す!

1月13日、ケバブちゃん（キャラクター）に「ツイート雪むすめ」の委嘱状が交付されました。ケバブちゃんは、目黒道人さん（楯戸）が作ったマスコット・キャラクターで、3人目の雪むすめとして、雪まつりのホットな情報を、毎日ツイッターでつぶやき、発信しています。情報は「@muttonkebab」にアクセスで、いつでも見れます。雪まつり期間中は会場内で、その様子をつぶやきます。

明 「天野宣と阿羅漢」和太鼓公演 和小学校全児童が和太鼓演奏に挑戦

1月30日に明和小学校体育館で、「天野宣（あまのせん）と阿羅漢（あらはん）」による和太鼓公演が行われました。この事業は文化庁が実施するもので文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力、将来の芸術家の育成を図ることなどを目的に行われます。（有）天野宣音楽事務所の天野流宗家家元全国天野会主宰「天野宣さん」率いる和太鼓演奏グループ5名の皆さんと、最初に明和小学校全児童が「明日へ」を合同演奏、3学期はじめからリズム演奏の練習を重ね、全体練習は3回の授業で仕上げ、本番に臨みました。この演目は、様々な太鼓を勢いよくたたき、リズムカルにテンポよく演奏することが特徴ですが、児童たちは大きな掛け声でタイミングをとりながら、息の合った、軽快で力強く元気な演奏を披露。保護者など聴衆から感動の拍手が送られました。同校6年の「高橋涼花さん」は、演奏を振り返り「上手に楽しくできた。リズムを合わせる練習で友だちとの絆が深まった。小学校生活も残りわずか、よい思い出になった」と笑顔で感想を述べました。児童は一流の勇壮で迫力ある和太鼓演奏7曲を堪能しました。



▲ 練習の成果を披露する明和小児童

只 「自然首都・只見」展 見の自然や特産品を紹介

只見町ブナセンターが主催する「自然首都・只見」展が千葉県の柏市中央公民館で1月31日～2月5日に開かれ、期間中延べ約400人が訪れました。会場では只見の自然や暮らしをパネルで紹介、さらにマタタビ細工のザルや手さげバックなども展示され、来館者の目を楽しませました。ブナセンター主任指導員、新国勇さんの講演も好評で102人が集いました。2月25日には東京で講演されます。



▲ 大勢詰めかけた新国勇さんの講演会

す 朝日保育所・新春カルタ会 ばやい動作でカルタにタッチ



▲ 真剣な表情でカルタに手を伸ばす保育所児

朝日保育所では、1月18日に新春カルタ会が開かれ、保育所児42名とそのおじいちゃん、おばあちゃんも参加しました。5～6人のグループに分かれ、元気な「はい」と同時にすばやくカルタをつかんだ保育所児は、笑顔でおじいちゃん、おばあちゃんに見せていました。表彰式では、たくさん取った順に、1位から3位とがんばり賞のメダルが贈られました。最後に、みんなでみかんを食べ喉をうるおしました。

葛 只見川電源流域振興協議会支援活動 尾村仮設住宅に奥会津の「食」を提供

只見川電源流域振興協議会は、農商工連携部会を中心に三春町の葛尾村仮設住宅で、12月22日、奥会津の「食」を提供する支援活動を行いました。今回で2回目の活動、もちつき大会や甘酒の振る舞い、雪の中から掘り出した雪中野菜の販売など奥会津ならではの「食」を堪能してもらいました。お礼として葛尾村幼稚園の園児9名によるかわいらしい歌のプレゼントもあり、心温まる交流となりました。



▲ もちつきを楽しむ葛尾村幼稚園の園児

和 シニア学級・パソコン教室 やかに、楽しく基本操作学ぶ



▲ 細やかな説明で楽しく学ぶ受講者

1月26日に朝日地区センターで、教育委員会が主催する「シニア学級・パソコン教室」が行われ、町内から14名が参加、ワード初級講座を受講しました。この講座は1月23日から四日間開かれ、参加者は、通知文書や簡単な名簿などを、写真やイラスト、飾り文字も取り入れ、オリジナルのレイアウトで仕上げていました。1月30～31日の二日間は、エクセル（表計算）初級講座が開かれました。